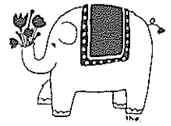


原稿募集

広報なんこくでは、あなたの投稿をお待ちしています。

「市民の声」など、市政に対する建設的なご意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」欄などへ、あなたの参加をお待ちしています。

中学、高校生のみなさんの詩や作文などもどうぞ。

また、地域の話題や楽しい行事などありましたら手紙や葉書でご報告ください。広報に掲載させていただきます。

楽しい行事などあるときには、電話くだされば、広報から取材にまいります。

あて先・南国市大埔甲二三〇一番地　南国市役所内広報委員会　電話三二二一一内線四三三

みなさんの参加をお待ちしています。

みなさんがつくるページ

南国歌壇

おくつきのみ前に坐して在りし日の　吾子の笑顔を思い出しおり　植野　中司愛子

老の身にむち打たるるや九十祖父今日もくわ持ち若葉の野畑に　立田　清岡照子

戸をあける我をむかえて文鳥の喜び総身にみせてたかとぶ　南陣山　西岡徳積

夏の陽に招く姿のひまわりの花咲き進む朝のさやけき　清風園　片岡光清

南国俳壇

子の釣りし鮎の十六匹もかな　波大湊句会

夕風や風出てよりの汐くみに　〃　弘田　瑞枝

海風のあたりて篭の蟬鳴けり　〃　浜田　久子

讃美歌がポタリとおとすのうぜん花　岩村句会　浜田　波男

梅雨の月洋城は遂に灯ともさず　〃　甲藤黒老三

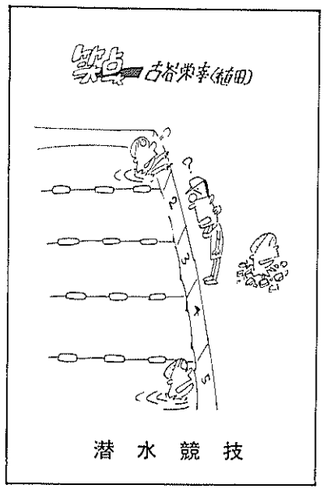
螢火や鍋釜浸ける平家谷　〃　島崎　洸一

葬き終えて昏れゆく庭や花御堂　国分梵鐘会　大畠　新草

葬き終えて風の入るまま花御堂　〃　竹内　隆造

花御堂葬く手もと飛ぶもののゐし　〃　林　広裕

〃　高橋　蛙



詩

青空

まっさおに晴れあがった空。
背のびして、
思いきり両手をのばした。
もう少し、もう少し。
青空がつかめるような気がした。
からだじゅうに
青空がしみこんでくる。

小倉久（比江）

人間

人間とは、われわれ
人間とは、欲望感が強い
そして、いざとなれば
我れ先である

われわれ人間は
たがいに助け合い
はげましあって
生きていかなければならない
愛、平和　そして、そして……

人間よ人間　戦うな
一人一人
手をつなごうではないか
たがいに手をとりあって……
人間よ人間
人間とは、われわれたちだ！

浜田みほ（下島里）

広報委員の目

杞憂

瀬戸内海を渡れば誰でもわかるが、海の色ほうす黒く死につつある海である。川には洗剤その他の化学薬品が流れこみ魚が住めぬ。大都市の人人は川の水を飲んで生きているが、これもいつまでもつことやら。現に建設省では、このままゆくと昭和六十年には、二十八億トンもの水不足が生じると発表しだした。これは、量の不足であるから質の良否を考えると、なお不足は多くなるであろう。

世界各国が経済海域二百カイリを強く言い出した。間もなくその通りになるだろう。こうなれば日本の漁船の働ける海は半分となり、今までのように魚は食べられなくなる。現に室戸港や高知港には遠洋漁業に出るのをやめて、つながれる船が出だしている。今年から北洋のタラバ蟹は全面禁漁となり、南極の鯨もわずかしか採られなくなった。

石油の価格がいっぺんに四倍になり、世界中が不景気だと困りぬいている。

世界的な気象異変が起りつつある。アフリカでは最近、大旱ばつが続き、砂漠になりつつある。エチオピアの骨と皮ばかりになった親子の写真が高知新聞に出たのは最近のことである。大変なことになりつつあるような気がする。

今から四百年前のフランスのノストラダムスの本を読むと、今から二十七年先には人類は滅びると書いてある。その本の予言は九〇％の適中率であるから無気味である。宗教も、世界中の学者の集まりであるローマクラブも、今から約三十年先は人類はあぶないといっている。今の世の中の徴候は、その通りになりつつある。

世界中の人が、一日も早く、自分のみの生活、利益、快楽を考えるのを捨てて、人間としての正しい生き方を考えねば子言者の言う通りになる気がしてならない。

（ロケット）

国際婦人年　地位向上をめざそう

六月二十八日、午後一時から大篠公民館で国際婦人年南国市大会が開催されました。

今年は国際婦人年――ちょうど日本では婦人参政権獲得の三十周年にあたり、南国市では初めての試みで約二百人の婦人が参加しました。

この行事は、〝現在、婦人がおかれている立場を直視し、婦人の地位の向上をめざそう〟とするもので、ちょうど海外でもメキシコ市で国際婦人会議が開かれており熱気のある行事となりました。

まず、高知新聞社の論説副委員長品原淳次郎氏の「国際婦人年にちなんで」の講演のあと、市内の各婦人団体の手による、戦中、戦後の女性の苦難の歩みをふりかえった、寸劇「女の道よなぜけわし」があり、和気あいあいとしたひと時をすごしました。

市政モニター通信から

一斉清掃で思うこと

■誠に申し分けないが、毎日高知市まで通勤しているため、ろくに新聞も読めない時があって六月八日は、県内一斉清掃の日だったそうですが、実は聞いてみると一部の人たちも知らなかったようです。ところが七日の夕方、市役所の職員が広報をもってやってきました。翌日は、一斉清掃の日だからよろしく頼む、といいました。

私の家も夫婦共稼ぎで、日曜日には家のことを色々やりますが、清掃日ならしかたありません。朝八時から起きて、三十分ぐらいで溝の清掃も終り、やれやれとゆう時、こんどは出した泥を、トラックが来るからそれに載せてくれというのです。今までそんなことは私の記憶ではないと思っていましたが、日曜日でもあるので、仕方ないと思い、泥まみれでトラックに載せました。ところが、腹が立つではありませんか。昨夕、広報をもってきた市役所の職員が、車に乗って遊んでいるのかどうか知りませんが、私は近所の人たちと一緒に泥まみれになっているというのに、市長これはどういうことですか。前の日に突然もって来て翌日は車にのって、のうのうとしているということは。

またあの日は、高知市でも清掃している姿がテレビでも出ていましたが、そのわきで、市営プールで水にたわむれている男女、子供が映っていました。一生懸命清掃している者と、娯楽をしているものが同居する清掃日なんてあるでしょうか。よその市のことはあまり申したくありませんが、まさかその日、南国市でもそんなことをしていた人はいますまい。（Y）

■六月八日は南国市一斉清掃の日である。三日位前から、各班の人たちと話し合ってお互いの持場を決めた。前日はだいたい大きなゴミを一ヵ所に集める事にした。

私たちは、国道沿いに人家が集っているため、早朝五時からする事にした。普だん、早起きしたことがないために、近所の人たちと〝よう起きるろうかねえ、もしまだ出てなかったら起しに来てよ〟と何度も念押ししながら帰った。当日の朝は、三時頃から一時間おきぐらいに目が覚めて困った。

六月八日、朝五時。心配していたお天気も良く、この分だと作業がはかどるだろうと両手を大きく広げて朝のすみきった空気を胸一杯吸った。近所の人々は手に手に鍬や鎌を持って集まってきた。それぞれの持場で作業は開始された。

一戸当り、一人以上参加して下さったのでふだんはあまり声をかけたことのない人も今日はなんだか何年も前からの知人の様に和気あいあいとして作業もはかどっている様だ。〝これはもしかして、私の家のゴミではないかしら〟〝これは上から流れてきたものらしい〟〝部落、部落の境に堰をしてみてはどうかしら〟などと、日頃はめったに顔を合す事のない者同志、色々話がはずむ。

ほぼ全員出て下さったおかげで一時間余りで作業は終了した。美しくなった空地や川を眺めて皆、〝本当に、さらさらと流れる水を見るのは気持のいいものだねえ、年に一回といわず、また声をかけてちょうだい〟といわれた時は、本当にうれしかった。今日ほど、衛生委員をしていて充実した満足感を味わったことはない。私たちの住む街を私たちの手で美しくするのはあたりまえ、といってしまえばそれまでだが、やはり私は、ご協力くださった皆様にお礼をいいたい。本当に、ありがとうございました、と。（H）

がれる船が出だしている。今年から北洋のタラバ蟹は全面禁漁となり、南極の鯨もわずかしか採られなくなった。

石油の価格がいっぺんに四倍になり、世界中が不景気だと困りぬいている。

世界的な気象異変が起りつつある。アフリカでは最近、大旱ばつが続き、砂漠になりつつある。エチオピアの骨と皮ばかりになった親子の写真が高知新聞に出たのは最近のことである。大変なことになりつつあるような気がする。

今から四百年前のフランスのノストラダムスの本を読むと、今から二十七年先には人類は滅びると書いてある。その本の予言は九〇％の適中率であるから無気味である。宗教も、世界中の学者の集まりであるローマクラブも、今から約三十年先は人類はあぶないといっている。今の世の中の徴候は、その通りになりつつある。

世界中の人が、一日も早く、自分のみの生活、利益、快楽を考えるのを捨てて、人間としての正しい生き方を考えねば子言者の言う通りになる気がしてならない。

（ロケット）